

危機管理マニュアル

(クマ出没対策編)

2025 年11 月25 日 制 定

対象とする危機

クマ出没

- 学内におけるクマ出没
- 学校周辺におけるクマ出没

学校法人 宮城学院

I マニュアルの基本事項

1 策定の目的

このマニュアルは、学校法人宮城学院リスク管理規程（2025 年 4 月制定。以下「リスク管理規程」という。）に基づき、本学院及び本学院周辺におけるクマの出没事案が発生した場合に、学生、生徒、園児及び教職員等（以下「学生等」という。）の安全を最優先に確保するため、情報収集・伝達を速やかに行い、本学院の教育活動・登下校・キャンパス生活における適切な対応体制を確保することを目的としています。

2 策定の基本方針

- ① このマニュアルは、危機管理基本マニュアル（2019 年7月改定。以下「基本マニュアル」という。）でいう個別マニュアルとして位置付け、クマ出没の際の具体的な対応策を示し、組織体制や危機発生時から危機収束時までの基本事項は、基本マニュアルに準拠します。
- ② 県私学・公益法人課等の関係機関との連携体制を確保します。
- ③ 適切な情報提供に努めます。

3 用語の定義

このマニュアルで用いる用語の定義は次のとおりとします。

- (1) 統括責任者
学院長、常務理事、学長、校長、園長、事務局長
- (2) 最高責任者
理事長
- (3) 出没
クマの目撃、痕跡（足跡・糞・爪痕）、音、侵入等の事象。
- (4) 学院周辺
桜ヶ丘キャンパス及び主要通学路。
- (5) 誘引物
生ゴミ、果樹の落果などクマを引き寄せる要因。

4 発生段階区分別行動計画

危機レベル	区分	状態	とるべき行動
レベル 1	平常時	出没情報なし	・ 行政等のクマ出没の情報収集を行う ・ 学院内外の安全確認を行う ・ リスクの洗い出しを行う ・ 必要に応じて情報提供を行う

レベル 2	警戒期	学院周辺で目撃・痕跡	・ 誘引物となる生ごみ等を必ず扉のついた建物内に保管する ・ 誘引物となる果実や野菜を収穫または撤去する ・ 遊歩道の立入禁止 ・ 必要に応じてサークル活動・部活動の場所を屋外から屋内へ切り替える ・ 危険箇所付近の屋外活動を一部制限する ・ オンライン授業の活用を検討
レベル 3	緊急期	学院内侵入	・ 対策本部にて情報共有と対応を協議 ・ 学生・生徒・園児の安全確保 ① 全員屋内へ避難し所在を確認 ② 登下校時の注意事項を指導 ③ 休校措置の検討 ・ 保護者・学生・生徒・園児への連絡 ① クマの目撃に関する情報提供 ② 学院の安全対策及び対応状況 ③ 登下校時の注意事項 ④ 保護者の送迎等について指示 ・ 関係機関への連絡

5 クマ出没事案発生時の基本的対応

(1) クマ出没事案発生時の報告

学院内におけるクマ出没事案の発生、あるいは学院周辺におけるクマ出没事案の発生を確認した場合は、速やかに所属する部局の統括責任者に報告します（基本マニュアル様式 1 「危機情報報告書」）。報告を受けた統括責任者は、直ちに最高責任者に報告します。

(2) 対応体制の確立

最高責任者は、状況の確認を行い、全学院的な対応が必要であると判断した場合は、速やかに対策本部を設置します。

(3) 情報の収集と管理

ア 収集すべき内容

① 被害状況

- 発生日時（クマ出没日時）
- クマ出没場所と状況
- 負傷者の有無

② 対応状況

- 避難状況
- 現場における医療活動等の状況

イ 情報の管理、分析、判断

① 情報の管理

- 情報は、時系列に整理、記録するとともに、情報の集約は、危機情報報告書の第1報から終結する最終報まで継続し、対策本部内の情報の共有に努めます。

② 情報の分析と判断

- 収集した情報を総合的に分析するため対策本部を適宜開催し、クマ出没に関する情報、対応の緊急性等の分析、評価を行うとともに、以降の対応方策を検討します。
- 分析、評価にあたっては、状況の時間的変化、空間的広がり、被害者の状況などを図や一覧表に整理して行います。

(4) 情報の提供

ア 学生等、保護者、地域住民等関係者

- クマ出没事案が発生した場合、対応状況、今後の方針や見通しなどについて、できるだけ速やかに関係者に情報提供し、不安解消を図ります。

<参考>

仙台市HP(ツキノワグマ対策について)

<https://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/yase/higai/tsukinowaguma.html>

宮城県HP(クマ目撃情報)

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/r7kuma.html>

クマ出没時の連絡体制（連絡網）

○学院内でクマ目撃情報を把握後、対策本部から設置学校、警察署、近隣学校に連絡。

